

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
1	22	まちの将来像 「住」「働」「楽」が織り成す都市魅力を発信し、人をひきつけるまち	「職住近接」「職遊融合」「住遊近在」はただの漢字遊びですか？	「住まい」「働く場」「楽しむ場」などの魅力を生かし、新たな価値を創出するという趣旨で使っています。 (企画政策室)
2	22	まちの将来像 市民主体のコミュニティ運営が確立されたまち	『特に、本市の特徴である市内の各地域の固有の特色を市の魅力向上に結びつけるためには、地域の実情に応じたきめ細かなまちづくりを進めることが重要です。』の箇所の意味が分からないという趣旨の意見	まちの魅力を向上させるため、地域の歴史や文化など、その地域で大切にしてきたものなど、地域にある魅力に気づき、その魅力に磨きをかけるという趣旨でと考えています。 地域の人がまちの魅力に気づき、それを大切に思い、自らまちづくりに参画する行動を喚起する文章として、分かりやすいものに修正が必要と考えます。 (企画政策室)  ⇒基本構想(素案)修正案 資料2参照
3	22	まちの将来像 まちの未来を拓く人を育むまち	『「安心して、子どもを生み育てる環境」、「子どもが自立するまでの成長を応援する環境」、「社会とつながり自己実現ができる環境」など生涯をとおして学び・育む環境が備わったまちを目指します。』とありますが、市民福祉はどこへいったのですか？	まちづくりの担い手を育むということでもとめたものです。ご指摘いただいている市民福祉は、まちづくり全般にわたってかかわってくるものとして捉えています。 (企画政策室)
4	22、23	まちの将来像	希望なり、展望なり、ですから、いい事しか書かない、残せないのは仕方ありません。 「こういう未来の為にみんないっしょにがんばろう」という姿は大切だと思います。ただそこに行きつく為には過去に(あるいは地域性に)縛られず、そこに住む人たちが、自分達の「暮らし」「人生」をどう考え、求めるかだと思います。それが地域(性)でしょう…？ 停滞した今をどうしたら打ち破れるか。これから自分達で自分達の「まち」(地域)を作っていく。ただし一部の人のものではなくて、このような構想に則っています。 今、吹田市に限らず日本全体が『生きなおし』に来ているのだと思います。誰かをあてにしたり、待つでもなく、自分自身で一步踏み出す、踏み出せる構想にして下さい。 「人」を大事にするとはどういうことかとことん掘り下げていきましょう。	総合計画が、協働と役割分担のもとで、まちづくりを進めていく上での共有すべき指針としての役割が果たせるように、また、まちづくりにかかわる行動を喚起するようなものとなるように、基本構想、基本計画を通した検討の中で、ご指摘いただいた点も踏まえて取り組みます。 (企画政策室)
5	22、23	まちの将来像	「ゆりかごから墓場まで」ではなく、「生まれる前から死んだ後も」だと思います。 今後、行政の過疎地と呼ばれている地域をどのように活性化させていくのには綺麗事をならべても実感が湧きません。 確かに今後の未来像です。だからこそ、現実を見極める『目』が必要ですね。行政がどこまで市民に寄り添えるかです。もちろん市民の自立も欠かせません。それをどうもっていくかが今問われているのでしょうか？ 「人」の在様を[書いて]いるとは思いますが、ちょっと、抽象的でわかりません。	将来像の実現に向けて、市民、事業者、行政などまちづくりの主体が、協働と役割分担によるまちづくりにどうかかわっていけばよいのかなど、基本構想と基本計画を通した検討の中で、分かりやすい計画となるよう、ご指摘の点も踏まえて取り組みます。 (企画政策室)

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
6	24、25	都市空間	乱立するマンション群の中で、似た風景しかないですよ。歯止めが出来ますか。	総合計画基本構想の素案においては、「地域の特性を生かした魅力ある都市空間の形成」をめざすことを、都市空間の将来像として示しています。 なお、良好な市街地の形成をめざし、「都市計画マスタープラン」や「景観まちづくり計画」など関連する各分野の個別計画と連携し、誘導を図ります。 (都市整備室)
7	28	ルートⅠ 一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち	平和の尊さ→やはり命でしょう。命あってこそです。	「平和」とは、単に戦争の無い状態を意味するのではなく、いじめ、自殺、交通事故、犯罪、格差、環境破壊などの問題がなく、人が安心して平穏に暮らせる状態も包含しています。 「命あってこそ」と言われることにもつながっており、今後も平和の尊さを訴えていきます。 (人権平和室)
8	28	ルートⅠ 一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち	『一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち』について、『一人ひとりの「権利」とさまざまな文化を認め合う平和なまち』の方がよいと思います。(この基本構想において、「一人ひとりの」人権よりも権利の方・・・)	人権とは、私たちが幸せに生きるための権利で、人種や民族、性別を超えて万人に共通した一人ひとりが持つ権利のことです。 1948年(昭和23年)、世界人権宣言が採択されました。この宣言は、全ての人間が人間として尊重され、自由であり、平等であり、差別をされてはならないことを定めており、国際社会の基本的ルールの大きな柱となっています。 (人権平和室)
9	28	ルートⅠ 一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち ルートⅢ ともにつながり未来を拓く人づくりを進めるまち	吹田には市立博物館がある、不要との声もあるようですが資料館ではなく整った博物館施設が吹田にあることを誇りにすべきだと思う。 博物館の敷地は隣接する紫金山公園と共に吹田の自然と歴史の宝庫でもある、次の世代に必ず残すべきものだと思う。 現在市民委員による展示など活性化に取り組み市民への認知拡大、集客増を推進しているが、手狭でもあるので収蔵庫、展示室の増設などを図り、美術展示等の機能を持たせ集客増、入場料収入等も見込め活性化につながる。吹田で盛んなまち歩きなどで歴史を歩いて博物館へのコース等に取り組みばまちおこしにもつながると思う。	博物館は地域の文化を継承し、その発信拠点となることや、市民が活動に参加し、市民生活を豊かな潤いのあるものにし市民文化の向上に寄与することを使命としています。  収蔵スペースの増築、展示スペースの増床の必要性など博物館の活性化につながる有効な方策について検討しています。  また博物館を訪れるまち歩きは、一部、吹田まち案内人などにより、機会をみつけて実施されていますが、今後、博物館と現地保存されている貴重な古建築などをネットワーク化し、見学コースの整備を検討していきます。 (文化財保護課)
10	28	ルートⅡ 誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち ルートⅤ 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	私は障がい当事者です。 生まれ故郷に次いで吹田のまちが大好きです。 市長の「非常事態宣言」を受け、事業見直しで障がい者・高齢者施策が削減され、地域で暮らす私たち障がい者は将来にとっても不安を感じています。  「基本構想素案」にも謳われているように、子どもや障がい者、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことが出来るように、施策(福祉サービス)の充実、差別のない社会、また、社会参加・活動出来るようバリアフリーなまち、イコール誰もが安心して外出できるまち。 「吹田市」の姿を切に願っています。	少子高齢化社会で、将来、増加が見込まれる社会保障をどう支えていくかということが、福祉施策のあり方を考える上での課題と認識しています。  そうした中で、「誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち」に向けて、行政サービスのあり方とともに、地域における支え合いの大切さなど、福祉への理解を深め、多くの市民に広げていくことが重要と考えています。 (企画政策室、障がい福祉室、高齢福祉室)

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
11	28	ルートII 誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち	<p>基本方針の2で、「誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち」とあるが、現在、市を挙げてとりくまれている「維新プロジェクト」と矛盾するのではないかと思います。</p> <p>これまで「福祉のまち吹田」「子育てするなら吹田」と言われてきたにもかかわらず、「維新プロジェクト」により、制度は他市並みにするという方針で、長年にわたり吹田市独自で行われてきた、さまざまな政策が廃止や縮小をされたり、公立保育園の民営化が推進されたりしています。「維新プロジェクト」の推進は、基本方針と矛盾しており納得がいきません。</p> <p>また、今後この基本構想が、市民をどう巻き込んで作成されていくのかわかりませんが、当事者参加が補償されるべきではないかと考えます。</p> <p>国連の障害者権利条約のスローガンに「私たちぬきに私たちのことを決めないで」というフレーズがありますが、市民の声を反映していない構想では問題です。</p> <p>基本姿勢1の中に、構想作成そのものに障害者や高齢者、子ども、女性など項目ごとに当事者や当事者団体の参加を補償しその意見を反映したものにすべきだと考えます。</p>	<p>今後も高齢化の進行が見込まれる中で、福祉における支援のあり方として、将来にわたって安定的な支援を確保していく必要があります。</p> <p>このため、現状の事業内容を検討し、他市の状況を参考にして見直しに取り組んできたものであり、総合計画の方針とは整合しているものと考えています。</p> <p>また、障がい者計画や障がい福祉計画等の計画策定時においては当事者や関係団体も交えて策定しており、こうした福祉施策の現状と総体としての市民の意見を踏まえた中で、行政需要を考え計画に反映することが重要と考えております。</p> <p>こうしたことから、計画策定にあたっては、できる限り多様な意見を頂戴する機会の設定に努めております。</p> <p>(企画政策室、障がい福祉室、高齢福祉室)</p>
12	28	ルートII 誰もが住み慣れた地域で支え合い健康で安心して暮らせる福祉のまち ルートV 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	<p>様々な人が住んでいるという視点、バリアフリーの視点を忘れないようにして下さい。</p> <p>弱い立場の人が、住みよい街、エレベーター、スロープなどは、もとより、ピクトグラムや、絵文字なども整備する必要があります。</p> <p>そうすると、たくさんの人にとって使いやすいものになります。</p> <p>※ピクトグラム:文字にかわって、事物や概念を伝えるために作成される図形。非常口と、そこに走り寄る人を表した「避難誘導指示灯」のマークや、車いすとそこに座る人を表した「身体障害者用」を表すマークが有名。</p>	<p>本市では、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律等に基づき、バリアフリー基本構想及び道路特定事業計画を策定し、現在生活関連経路等を優先的に整備しているところです。</p> <p>引き続き、吹田市道路特定事業計画に基づき市内全域のバリアフリー化を目指すなど、障がいの有るなしに関わらず、誰もが安心して暮らせるように、ユニバーサルデザインの導入の視点を持ってまちづくりを進めてまいります。</p> <p>(障がい福祉室、道路公園企画室)</p>
13	28	ルートIV 健全で豊かな環境を守り引き継ぐまち ルートV 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	<p>毎日中之島公園を歩いて通勤しておりますが、気になることを一つ。樹木も大きくなり季節ごとに花を咲かせ、癒される日々です。</p> <p>しかしながら、カラスが木の枝を落とし放題で、歩いていても突然上から落ちてくるなど、びっくりします。私が感じるころでは、ナンキンハゼの木が最も被害を受けているのではないのでしょうか。</p> <p>そして、春には桜並木が美しく、梅の花も紅白で花を咲かせてくれますが、桜の枝も落ちているこのもしばしば。</p> <p>吹田市として、公園事業は人々の心を和ませ、緑の多い市政都市として、子供たちを始めとする親子世代に渡し、故郷として心に残る、地域の公園を運営していただきたいと思います。</p> <p>まずは、カラスの生態等、私もよく勉強しておりませんが、彼らから公園の木々を守る何か手立てはないのか、考えて頂ければ幸いです。</p>	<p>地域に愛される公園として市民の皆様により親しんでいただけますよう、今後も、公園・緑地施策を検討・推進してまいります。</p> <p>カラス対策といたしましては、公園やその周辺にごみを捨てないなどカラスと生ごみとの接触を減らすことが効果的と考えられます。</p> <p>公園やその周辺にごみを捨てない、公園でえさやりをしない等に留意するなど、公園利用マナーの啓発を行ってまいります。</p> <p>(地域環境室、道路公園企画室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
14	28	ルートV 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	<p>市民の健康と生きがいにつながる施策としてアジェンダ21が見直し目標として検討している歩きたくなるまち作りを推進し、歴史や名所、美観、観光につながる場所や緑地整備を図り、歩きたくなる安心安全のまちづくりができるコースの整備が必要と思う。</p> <p>これ等の街歩きのコースにトイレの設置が必要である。北千里の第2緑地はNPOが整備、管理をしているが元気な女性が数多く参加されず、トイレに困るため1度は参加されてもつ方も多い以前は、藤白荘のトイレを借りたりしていたが今は取り壊されて、戸建て住宅建設がなされている。第2緑地には市民の自然遊歩道もあるのでこの土地に隣接する場所にトイレを作ることは出来ると思う。</p>	<p>歴史や名所、美観、観光につながる緑地整備につきましては、御意見を参考にしながら検討します。</p> <p>街歩きのコースの一つとして「花と緑、水めぐる遊歩道」があり、このコース上にあるトイレにつきましては地図に表示するなどの情報提供を行っております。</p> <p>(道路公園企画室、道路公園整備室)</p>
15	28	ルートV 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	<p>吹田市の北部には緑が多いが南部には少ない、江坂地区など、車のための道路づくりが優先され街路樹への配慮がない。中、低木樹でも各道路や水路に街路樹を配することでみどりの増加だけではなく歩きたくなるまちづくりにもつながると思う。</p>	<p>道路における街路樹の整備にあたっては、街路樹整備後も歩道の幅員が十分確保されている必要があります。</p> <p>このため、都市計画道路や駅前広場等、一定の道路幅員等が確保されているなどの条件が整っている道路等において、整備にあわせて街路樹や植栽の整備を行っている状況です。</p> <p>(道路公園企画室)</p>
16	28	ルートV 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	<p>脱、車社会を目指して生活ライフを変えることは環境への次のステップだと思う。2車線のところを1車線にして余った土地にバリアフリーの歩道や低木、花、草等のみどりのネットワークにすれば生物多様性にもつながると思う。水路の整備にも同じことが言える。</p>	<p>本市では、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律等に基づき、バリアフリー基本構想及び道路特定事業計画を策定し、現在生活関連経路等を優先的に整備しているところです。</p> <p>引き続き、吹田市道路特定事業計画に基づき市内全域のバリアフリー化をめざしていくとともに、都市計画道路や駅前広場等、一定の道路幅員等が確保されているなどの条件が整っている道路等におきましては、歩道の整備にあわせて、街路樹や植栽の整備を行ってまいります。</p> <p>(道路公園企画室)</p>
17	28	ルートV 誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち	<p>数多い吹田のNPO、ボランティア団体の連携や育成が大切だと思う。市は緑地や公園の整備、市民向けの施設の管理をこれら団体に委託しているが、受け持った団体が私物化することのないよう、複数団体の協働や分担作業なども考慮してみてはと思う。</p>	<p>市内の公園・緑地の維持管理ボランティアにつきましては、複数のボランティア団体等に分担してお願いしておりますが、誤解を招く事がないよう、今後も市とボランティア団体で協議してまいります。</p> <p>(道路公園管理室、道路公園整備室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
18	29	ルートVI 支え合いと備えで安全に暮らせるまち	吹田の災害対策として都市公園などに防災施設としてかまどベンチ、非常用マンホールトイレ、太陽光街灯等を整備しているが、これらを市民に広報、活用がされていない。 周知、活用体験が必要ではないか。	吹田市では、街角防災ふれあい広場整備事業として、公園にかまどベンチ、非常用マンホールトイレ、ソーラー式街灯等を防災施設として整備しています。また、大阪府が帰宅困難者対策の事業として、府道沿いに同様の施設を整備しております。  整備が完了した際には、地元の自治会等に鍵の引渡しを行い、使用方法の説明を実施しており、防災訓練の際には、実際に炊き出しを行うなど、自治会等で活用されています。  今後、吹田市防災ハンドブックでの広報をはじめ、引き続き市民に対して周知していきたいと考えています。 (危機管理室)
19	29	ルートVII 人が集い、企業を育む、都市魅力あふれるまち	吹田には古い歴史や文化があるが市外からの観光者などの集客に結び付くようなインパクトに欠ける。 NPO等の知恵も借りてこれ等の場所の整備、訪れて観るだけでなく学びの要素も取り入れ他観光地の創造に努め、ボランティアの協力等で案内や地元物産販売など出来ないだろうか。 こういった場所を繋ぐ歩きたくなる安心安全なネットワーク街路があれば吹田に人が集まり活性化が出来ると思う。	観光施策の推進にあたっては、市内のみならず広域からの誘客を促進し、地域経済の活性化へつなげていくことを目的としております。  一般社団法人吹田にぎわい観光協会やボランティア組織の吹田まち案内人と連携を図りながら、市内の名品やグルメとまち歩きを一緒に楽しむツアーを実施するなど新たな事業を企画・実施しており、今後とも連携を深めることで事業内容の充実に向けてまいります。 (地域経済振興室)
20	30	基本方針とまちのイメージ	置いてほしい図書等を紙に書いて受付で渡せると良い	市民が必要とする資料を提供することは図書館の基本的業務であり、吹田市立図書館において所蔵していない資料については、「予約用紙」に記入の上図書館カウンターに出していただければ、購入の検討をさせていただきます。  すでに絶版となっている資料等購入できない資料については、府立図書館や近隣の市立図書館から借り受けて提供を行っています。 (中央図書館)

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
21	32	ベースⅠ 市民が活躍できるまちの仕組みづくりを進めます	<p>市民が活躍できるまちについて 吹田では市民活動が活発で、それは吹田の宝物であるといえます、市民活動を育成し活用することは市の財政にも関わり、市民の健康を向上させ医療費の削減にもつながり市職員の人件費の削減にもつながる等、波及効果は大きいと思う。</p> <p>市民活動の支援としては南千里の市民活動センターの運営が正しく有効に遂行されるよう行政の指導が必要と思う。 また南千里だけではなく市の南部にも同じような施設が必要と思われる。元の市民会館の跡地を不意打ちのように売却してしまったけれども買い戻してでも市民活動のための施設を設けるべきだと思う。</p>	<p>市民公益活動センター指定管理者の業務が適正に実施されるよう、毎月開催している情報共有、意見交換のための連絡会議、指定管理者からの月次報告書の提出、実地調査等のモニタリングを実施し、施設運営にあっております。</p> <p>今後も指定管理者とコミュニケーションを取りながらより良い管理運営をめざしてまいります。</p> <p>また、市民公益活動支援施設を市の南部地域に設置することにつきましては、本市の市民公益活動の促進に関する基本方針に南北2館の構想を掲げていますので、現在の市民公益活動センターの利用状況等を勘案しながら、そのあり方や適地の確保も含め、構想の実現化について検討してまいります。 (市民自治推進室)</p>
22	32	ベースⅠ 市民が活躍できるまちの仕組みづくりを進めます	<p>自律→自立ではなくあえての自律ですか</p>	<p>自立は、他に依存しないで、自身でやっていけるという意味合いが強い。</p> <p>自律は、他の地域を意識することなく、地域が自らを律して自治を行う場合の表現として使っています。 (企画政策室、市民自治推進室)</p>
23	32	ベースⅡ 持続可能なまちづくりのための行政経営を確立します	<p>行政経営の分野について、何らかの数値なり、過去の報告ができることがありますか。「公務員」と「民間人」の格差(それぞれ価値観)は広がる一方では？</p>	<p>基本姿勢として、行政経営の姿勢を示し、広く市民の理解を得る努力をしていくという趣旨で素案を策定しています。</p> <p>行政以外の人からも理解していただけるような行財政運営をと考えており、過去の経過の報告については、今後の総合計画の見直しの取組の中で検討してまいります。 (企画政策室)</p>
24	—	その他	<p>2007発行「ダイヤモンド誌」[安心して住める街]をみると吹田市はあらゆる面で大阪府下で上位となっており、全国的にみても上位であった。5年後(今)の資料をみると多分絶対的にも相対的にもランクは下がっていると思われる。 ニュータウンに予算が集まり、旧市内は、よくなっていない。 吹田の千里ニュータウン地区に入ると、これが同じ町かと言うほどすばらしい環境にある。 しかもこのニュータウンも老令化したので、又、更に予算を執行して活性化を計ることになる。 旧市内にも活性化を求めてお金を注入すべきであります。</p>	<p>将来予測として、少子高齢化の進行に伴う人口の年齢構成の変化が考えられます。また、地域によっても違いが見られ、行政需要も異なるものとなることが推測されます。</p> <p>こうした背景もあり、旧市内やニュータウンにおいても抱える課題は、地域によって様々なものが考えられます。</p> <p>地域の実情をしっかりと把握し、行政資源の配分を適切に行っていくことが必要と考えています。 (企画政策室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
25	—	その他	各章や各タイトルの目標には、数字を盛り込んだり数字に置き換えて計画をおさえる。5W1Hの考え方で計画を作成して示す。	基本構想では、まちの将来像や将来像への基本方針を示し、基本計画では基本構想に掲げる目標を具体化する取組の内容を示していく必要があるものと考えております。 (企画政策室)
26	—	その他	1) 国の方針: 社会資本のストック、良好な住宅づくり  住生活基本法 地域の自然、歴史、文化その他の特性に応じて、環境と調和に配慮しつつ、住民が誇りと愛着をもつことのできる良好な居住環境の形成が図られることを旨として、行わなければならない  人口減の時代、高度成長から成熟社会へ向っているとき、国及び地方公共団体は、住生活の量から質への転換を図らなくてはならない」と国土交通省は解説しています。	ご指摘の背景を受け止め、今後の総合計画の検討に取り組みます。 (企画政策室)
27	—	その他	2) 智慧を集め個性豊かな吹田のまちづくり  吹田市は古い街並みと新しいまちとが複合的に組み合った都市です。例えば旧市街地(高浜町)や、明治大正時代の風格を残したレトロな地区(旧山田村、佐井寺)や新商業地区(江坂)及び綿密に設計された人工都市(千里ニュータウン)とが混在しています。さらに日本の威信をかけて開催された万博会場の跡地には、万博自然公園や国立民俗学博物館及び広大なキャンパスを持つ大学などから成り立っています。 さらに、万博の開催で交通網が整った環境にあり、府下では最もインフラの整った恵まれた地域といつてよい。 国際学会の開催地として、東京、京都市、大阪市について僅差で千里ニュータウン(千里中央)での開催が多くなっていることから(日経新聞)、副都心としての機能を果たしていることがわかります。 吹田のまちづくりとして、全く異なった地域からなるそれぞれの個性を生かして、新旧のまちが全体として調和した環境に整備されることが望まれます。 これらの新・旧のまち(万博公園、民俗学博物館、日本民藝館、旧山田村、千里ニュータウンとその外周緑地、循環器病センターや大学など)の活性化で、全市域がそれぞれのまちの個性を発揮して「観光」や「学術」や「商業」が栄える都市として、専門家やまちづくりの経験者や市民の智慧を集めて整備することを目指すべきです。	ご指摘の背景を受け止め、今後の総合計画の検討に取り組みます。 (企画政策室)

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
28	—	その他	<p>3) 住生活の量から質へ                      低成長時代の成熟社会となり、人口減が明確になっています。大阪は、日本で最大の空家率の都市であり、20%を越えています(2012年日経)。したがって、過去の高度成長時代の夢を追いかけて、数を求めるまちづくりは適当ではありません。                      吹田市が都市としての魅力を発揮するには、夫々のまちの特色をブラッシュアップすることが求められています。「住生活基本法」の目的に沿って、「住生活の量から質への転換」を目指して、吹田市のまちづくり「総合計画基本構想」の現実化が望まれます。                      「住生活の量から質への転換」には色々な価値観をもった人たちが、住んでみたい、今後も住み続けたい、もう一度訪れてみたいという調和のとれた魅力のあるまちにすることです。                      住生活基本法第4条には、「地域の自然、歴史、文化その他の特性に応じて、環境との調和に配慮しつつ、住民が誇りと愛着を持つことのできる良好な居住環境の形成が図られることを旨として、行わなければならない」。そのために、第12条で「国及び地方公共団体は、住宅供給等の・・・適正な取引の確保及び住宅流通の・・・環境整備のための必要な施策を講じるものとする」とあります。                      地方公共団体としての吹田市が目指すまちづくりの「総合計画基本構想」は、「住生活基本法」の精神に沿って、それぞれのまちがどのような「目標」を持つかということで、具体的にまちの姿がイメージでき、それが実現できます。</p>	<p>ご指摘の背景を受け止め、今後の総合計画の検討に取り組みます。(企画政策室)</p>
29	—	その他	<p>4) 総合計画の基本方針の実現に向けた住みよいまちの目標設定                      住みよいまちとは、人々の多様なニーズに合うまちを提供することです。吹田市のまちの多様さを生かした個性のあるまちづくりで、ニーズに応えることが可能となります。                       高層マンションと低層住宅とが、混在しては、魅力あるまちとはいえなくなります。それなりの歴史と特徴を持った地域(まち)がもつ美しさを明確に主張できるまちづくりが望まれます。                      ショッピングに便利でにぎやかで活気のあるまちと、緑豊かで自然が多い静閑なゆとりのあるまちづくりとは物理的に共存できません。                      歴史のあるまちに高いコンクリートの壁は調和しません。「賑わい」と「静閑」とは、矛盾し、これらが調和して存在することには無理があります。                       吹田のまちづくりの、総合計画基本方針に「健全で豊かな環境を守り引き継ぐまち」とあります。市のまちの性格の多様さ故に、基本方針で述べられた内容を、夫々のまちに当てはめて、具体的な姿をイメージすることが出来ません。                      したがって行動を起こすことも出来ません。それぞれの地域のまちの姿をイメージできる「目標」があって、基本方針を生かしたスタート台に立つことができます。                       吹田市の(まちづくり)「総合計画基本方針」に「誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち」とあります。この方針の実現のために、それぞれのまちの目標を定めることを強力に推進することが求められます。</p>	<p>基本構想・基本計画を通して、できるだけめざすまちのイメージがしやすくなるように検討をしていきたいと考えております。                       また、各分野のより具体的なものにつきましては、環境や福祉、教育など各テーマの個別計画があります。これらの計画との関連を示すことで、総合計画が、知りたいことが見つけやすい計画となるように取り組んでまいります。(企画政策室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
30	—	その他	<p>5) 私権ハ公共ノ福祉ニ遵フ 私権の行使については公共の福祉が優先するという条件が伴います。私たちの行動には、権利の主張と同時に義務の履行が求められます。民法第1条には「私権ハ公共ノ福祉ニ遵フ」と権利と義務は法の裏表であることを目的として定めています。しかし現実には、私権の主張のみが行われていて、義務の履行が忘れられています。まちづくりにおいて特にそれが顕著です。</p> <p>開発者は開発地の近隣の利益を無視(義務の不履行)していることで問題が多発します。私有権の権利主張の強さのために、公共事業が適正に行われなかったり、適正な法の制定ができなかったり、適正な運用ができず計画決定が遅くなったりしています。</p>	<p>ご指摘の背景を受け止め、今後の総合計画の検討に取り組みます。(企画政策室)</p>
31	—	その他	<p>6) 私有権の乱用による景観破壊 便利さや賑わいを求めた駅前型開発は、社会のニーズに応えたものといえます。賑わいや通勤の利便を求める人は駅前に住みニーズを満たします。</p> <p>一方、歴史的地域(低層住宅地)で、駅前開発と同じ次元の開発が行われ、高層マンションが建ちだしました。このことで、まちの景観や住環境が一変し、旧来からの住民との間にトラブルが多発しています。</p> <p>開発事業者は、そこに自らが住むことを目的とはしていません。そのまちづくりに関心や愛着もなく、事業の利益追求を目的とした部分最適の開発をおこないます。その結果、歴史的な低層住宅地の周辺にコンクリートの壁が建ちはだかり、まちの景観や住環境との調和の取れないものになっています。</p> <p>住民は新しい環境に戸惑います。不調和な景観、日照の問題、ビル風、プライバシーの侵害の怖れの不安、生活騒音の増加、車の進入の増加と様々な問題が新しく発生し、不調和なまちに不快な思いで生活しなければなりません。</p> <p>現状への不満と将来不安が交じり合い、生活の質(QOL)は著しく低下してまちから脱出したくなる状況が生まれます。</p>	<p>ご指摘の背景を受け止め、今後の総合計画の検討に取り組みます。(企画政策室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
31	—	その他	<p>不調和なまちづくりが強行される社会的な理由があります。            開発事業者は、開発地の隣に住む人達や隣地への環境価値(価格などの低下)を考慮(街全体の調和を考慮して全体最適化)せず、開発者自身の利益の最大化(部分最適化)を図ります。            その分、これまで住み続けてきた住民のQOLは低下し利益は減少し、今後、このまちに住み続けることに不安が発生します。街全体としても居住環境が劣化し、不調和な景観となります。旧来からの居住者は弱者となります。            これでは「持続可能」なまちづくりとはいえません。</p> <p>中田元横浜市長は「大阪のまちは、おもちゃ箱をぶっちゃけたようだ」と表現しました。まち並に秩序と美しさを感じることはできないことを、云ったものらしいのです。            日本のまちは多かれ少なかれ「おもちゃ箱をぶっちゃけた」ようなまちで、私たちはそれを見慣れていて鈍感になっています。しかし、特段に「大阪のまち」と指摘されたことに私たちは反省するべきです。            第三者として見た人はそれを敏感に感じたのでしょう。居住者の不快感は鬱積しますが、どうしようもないことで諦め同居しています。先進諸国で、低層住宅と高層住宅が混在する街はなく、調和のある美しいまちを実現しています。</p>	<p>ご指摘の背景を受け止め、今後の総合計画の検討に取り組みます。            (企画政策室)</p>
32 33	—	その他	<p>7) まちなかで現在進行している事例(現状)</p> <p>現在まちなかで、具体的に進行している具体事例を見ます。            ①明治・大正の姿を残した旧山田村、佐井寺、春日などは戦災を免れて、府下でも大正の歴史的景観を残した数少ない落ち着いた環境を保っています。しかし、近年この周りに高層のマンションが建ち並び、コンクリート壁に古い街並みが圧迫されて住環境が急変してしまっています。            ②吹田村の歴史的な景観地区である高浜町もマンションが建ちだし、歴史的景観がマンションに飲み込まれる気配です。</p> <p><b>【提案】</b>            ①②は、現市街地と調和する建造物の高さ制限が求められます。このことで、低層住宅地の中または隣接した地域の景観や環境の悪化をある程度防ぐことができ、新規に高層住宅が建つ時の紛争を防ぐこともできます。開発事業者は、利益優先(部分最適化)で、周囲環境や景観(全体最適化)に配慮する余裕はありません。まちづくりは住民のためであり開発事業者のためのものではありません</p>	<p>総合計画基本構想(素案)におきましては、将来像の実現に向けて、「誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち」を目指すことを基本方向に位置づけています。            なお、極端に高さの異なる建築物の混在を抑制するため、全市域を対象にした高度地区の見直しを行い、平成23年(2011年)3月より絶対高さの制限を含む10種類の高度地区を施行しています。特に、低層住宅地域に隣接する中高層住宅地域などにおいては、緩和を認めないゾーンを設けるなど段階的な高さ制限を勘案し施行しています。            (都市整備室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
32 33	—	その他	<p><b>【現状】</b> ③広大な万博自然公園の周りに高層マンションが建ち並びました。山田地区と、万博の自然公園の森とがなだらかにつながって、豊かに大きな広がりを作っていましたが、それがコンクリートの壁に圧迫され、景観が不自然にごたごたしてきました。</p> <p><b>【提案】</b> ③は、万博公園周辺の建造物は、高さを適切に選ぶ(制限する)ことで、万博公園の景観を維持できます。そのことで大切な公共財の価値を保ち、民博とともに日本最大の公園の魅力を高め、全国からの観光客を集め、吹田の価値を高めます。観光税は吹田の財政を豊かにします。 (1世紀も前から観光立国を目指してきたスイスは、どのまちも調和があって美しく、世界からの観光客を呼び込んでいます。消費税は7.6%とヨーロッパ諸国の22%より低い。一人当たりのGDPは世界一です。)</p>	<p>総合計画基本構想(素案)におきましては、将来像の実現に向けて、「誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち」をめざすことを基本方向に位置づけています。 なお、極端に高さの異なる建築物の混在を抑制するため、全市域を対象とした高度地区の見直しを行い、平成23年(2011年)3月より絶対高さの制限を含む10種類の高度地区を施行しています。 (都市整備室)</p>
32 33	—	その他	<p><b>【現状】</b> ④住宅等の建替えに伴って、住宅地の周りにあるみどりの公共的空間(オープンスペースなど)に、メカニックな見苦しい立体駐車場が現れたり、のり面がコンクリートの壁に変貌して、見通しがなくなり圧迫感が増し、緑がなくなり、防災上も差し障りがあります。</p> <p>本件は、特に千里ニュータウンでの建替え事例で発生しています。このままでは、千里NTはコンクリートの塊りになり、都心と変わらない普通のまちに変貌しつつあります。</p> <p><b>【提案】</b> ④は、集合住宅(駐車場を含む)の建替えについて、現状の緑の面積(緑被率)を維持すること。</p> <p>特に建替えの進む、開発時に日本の建築学界の叢智を集めて検討された設計(集合住宅一人あたりの土地100㎡)の千里ニュータウンは、緑被率を崩すことは、日本のニュータウンの魁でありモデルであった千里ニュータウンではなくなります。</p> <p>どこにもある普通の団地と変わらなくなり千里ニュータウンの価値の低下を招くばかりでなく、まちの再生のあり方に汚点を残すこととなります。</p>	<p>戸建て住宅地では量感のある豊かな緑に包まれた良好な景観の保全、中高層住宅地では建替えに際して開放感のある緑地やオープンスペースを確保するなど、表情の豊かなゆとりのあるまちなみの創出を図るため、「住区再生プラン(案)」や「千里ニュータウンのまちづくり指針」等に基づき誘導を行っています。</p> <p>同プラン(案)及び、同指針は、法である都市計画法、建築基準法より厳しい指標であり、それ以上の規制につきましては、住民が主体となって地区計画等を活用し、それぞれの地区のよいところを守ったり、あるいはさらに良くしたり、また問題を改善するなど、「みんなでつくるまちづくりのルール」を実現していただきたいと考えております。</p> <p>また、吹田市第2次みどりの基本計画に示すみどりのまちづくり推進プロジェクトを推進し、みどりのまちづくりを進めてまいります。 (千里再生室、道路公園企画室)</p>

吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロード マップ ページ	項目	意見及び質問	考え方
32 33	—	その他	<p><b>【現状】</b>                      ⑤「良好な住宅の供給」を目的に開発された千里ニュータウンの開発時の姿を守る法規制がなく、戸建て住宅の細分化が目立ちました。このことは、従来から住み続けてきた隣接地や地域の居住者の住環境に著しく影響します。新しい開発の恐れに安心して住めなくなり、静閑を求めてきた居住者の心配が増えています。入居から半世紀が過ぎ、世帯交代が進行するにしたがって、問題は複雑化する一方です。</p> <p><b>【提案】</b>                      ⑤は、千里ニュータウンの戸建て住宅の敷地は、千里丘陵開発分譲時の敷地面積を維持します。千里丘陵の開発時の理念を尊重し、全国(世界)のニュータウンのモデルとなってきたまちづくりの再生例としても、その誇りを発信します。</p>	<p>総合計画基本構想(素案)においては、将来像の実現に向けて、「誰もが将来にわたって快適に暮らせるまち」を目指すことを基本方向に位置づけています。                      なお、土地所有者を含む地域住民が地域の特性に応じたまちづくりのルールを設定しようとする際には、建築協定や地区計画などの各種制度を活用できるようにその活動を支援しています。</p> <p>とりわけ、千里ニュータウンにおいては、千里ニュータウンで育まれてきた緑豊かでゆとりある良好な住環境を継承するガイドラインとして「千里ニュータウンのまちづくり指針」定め、開発や建替えの際の技術的なことがらを誘導しています。</p> <p>本指針は、市民参加でまとめられた新たな千里ニュータウンのまちづくりの方向性を示す「千里ニュータウン再生ビジョン」を基に、周辺環境との調和を図ることを目標に、誘導していく技術的なことがらを中心にまとめたものであり、今後も引続き、まちづくり指針を守っていただくよう取組みます。                      (都市整備室、千里再生室)</p>



吹田市総合計画(素案)に係る市民意見について

NO	ロードマップページ	項目	意見及び質問	考え方
35	—	その他	<p>【具体的な提案】 (現状と課題) ①吹田市内の鉄道等の交通は、各種の交通機関が独自で配置されているため、相互利用の不便などがある。 そのため、モノレール、バス、地下鉄などと連絡させ、ネットワーク化が必要であるとする。 (留意点) ②鉄道等は、人の往来を円滑・利便性を高めるため、鉄道系を主にして相互に連絡し、ネット状にする。 ③バスはモノレールを補完するもの ④特に東西方向への往来の円滑化 ⑤高齢者が利用しやすいこと (提案と期待できる成果) ⑥吹田市のシンボルである万博記念公園と市民の健康の源である万博スポーツ施設への通行の円滑化を図る必要があると思う。 ⑧万博記念公園の観光化、万博スポーツ施設の利用促進 ⑨大学文教施設への通学の円滑化 ⑩商業・産業の発展に資する公共交通</p>	<p>本市では公共交通の利便性向上、効果的かつ効率的な交通サービスの提供を目的として、平成22年(2010年)3月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく吹田市地域公共交通総合連携計画を策定いたしました。</p> <p>引き続き、計画に基づき、公共交通の利便性向上等の交通環境づくりを進めてまいります。 (道路公園企画室)</p>
36	—	その他	<p>【具体的な提案】</p> <p>①地下鉄今里筋線の井高野駅からJR岸辺駅までの延長、JR岸辺駅および阪急正雀駅と連絡し、吹田市の公共交通と連携する。 大阪地下鉄、阪急電車、JRと連携することができる。 ⇒大阪方面への交通の利便性の向上が図れる。</p> <p>②地下鉄御堂筋線・江坂駅に駅前広場、江坂公園の北西部に交通広場を設け、モノレールの駅とバスの停留所を設ける ⇒交通結節点の総合的整備が可能 (モノレールは、江坂駅、(仮称)南吹田駅付近、JR吹田駅付近、JR岸辺駅付近を經由し万博記念公園駅までの経路を想定した提案)</p> <p>③ペDESTリアンデッキおよび歩道は、駅間における歩行者通行の円滑化のため、江坂駅、JR吹田駅、JR岸辺駅、万博スポーツ施設および万博公園駅に設置する。</p> <p>④JR吹田付近には、JR鉄道への乗り換え通勤・通学さらに買い物客のための自動車駐車場を設置する。これは、当付近への集客化、大阪への自動車通勤による交通渋滞防止、違法駐車防止を図ることができる。</p>	<p>本市では公共交通の利便性向上、効果的かつ効率的な交通サービスの提供を目的として、平成22年(2010年)3月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく吹田市地域公共交通総合連携計画を策定いたしました。</p> <p>引き続き、計画に基づき、公共交通の利便性向上等の交通環境づくりを進めてまいります。 (道路公園企画室)</p>

## 総合計画 市民説明会実施結果

	場所	日時		参加者数		
				計	男性	女性
	豊一市民センター	2/26 (火)	19:00-21:00	17名	15名	2名
	千里丘市民センター	2/27 (水)	19:00-21:00	22名	18名	4名
	岸部市民センター	3/2 (土)	10:00-12:00	10名	7名	3名
	千里市民センター	3/2 (土)	14:30-16:30	32名	25名	7名
	メイシアター	3/3 (日)	10:00-12:00	10名	10名	-
	ゆいぴあ	3/3 (日)	14:30-16:30	9名	6名	3名
合 計				100名	81名	19名



吹田市総合計画市民説明会アンケート記録

2月26日(火)午後7:00~ / 豊一市民センター

---

(60代男性)

- ・ 1次と2次と今回の総合計画の差が明確ではない。つまり、昔はこうだったが、今後はこうだということがわかりにくい。
  - ・ 住民の意識調査の内容はどのようなものか。何年何月に誰が実施したか。回収率はどのくらいか。
  - ・ 防災のあり方について、阪神淡路、東日本大震災以後どのように変化したか。(防災が)どうみなされているか具体的な提示が無い。
  - ・ 説明会は短時間であったので説明しにくかったと思うが、少子化、基本計画の見方(p.34-35)の説明に時間が多くさかれていた。
  - ・ 今回の総合計画の特徴が、今回の説明の中から見えてこない。あまりにも抽象的なのでは。
- 

(40代男性)

- ・ 地域における「自治」「共働」「住民参加」といった受け皿を従来型の地縁による「自治会」のみが担うのではなく、意欲のある地域住民を広く募集して各世代の意見がまんべんなく出し合えるような「場」が必要ではないか。「自治会役員」の方々だけでは気づかない地域の課題を拾える場は必要だ。
  - ・ 「老人」「子育て世代」「青少年」それぞれの居場所づくりにそれぞれの世代が参加できる仕組みづくりと、世代間交流ができる仕組みづくりが必要だ。
- 

(不明)

- ・ 少子高齢化は国レベルでの対応だと思う。市レベルでバランスの取れた年齢構成を目指すのは難しいのでは。実現する手段もわからない。
- 

(50代男性)

- ・ 先日防災リーダーの講習を受けたが、とても良かった。今回の総合計画の話もとても良かった。年に数回やってほしい。
- 

以上

吹田市総合計画市民説明会アンケート記録

2月27日(水)午後7:00～ / 千里丘市民センター

---

(60代、性別不記載)

- 現状の問題点が何か不明確なまま、計画が立案されている。
  - 計画に具体策がない。住民が求めるのは行政としてどうしていくのかを表現すること。
  - 駅が14～15あることは対外的表現であって、内部的には誰も利点とは考えていない。
  - ゾーン立案の中で、他市と併合し、接点がある地域は取り残され、安易なゾーン設定となっている。吹田単独に立脚した見方ではなく、吹田、摂津、茨木という大きな視点から計画が成されなければ、評価されない。
- 

(60代男性)

- 資料に伴う説明内容が全く理解できない。「ルートを進むベース」などと言われても趣旨が理解できない。より内容を簡潔にし、一般的な説明内容にしないと、市民には理解できないだろう。担当者は自らの立場で理解して説明をしている。納得できない。
  - 将来像への基本方向の中での開発事業規模のインフラストラクチャーなど、地球温暖化対策に寄与する方策が見えない。
  - 将来的な人口構造変化に伴う基本的な考え方を含めての対応が明確ではない。
- 

(70歳以上男性)

- 吹田市総合計画の市民説明会を開いていただいたことは非常によいことで参加した。
  - 今日まで地域も含めて全くなかったため、関心を持って聞いた。
  - 説明が分かりやすく、策定の背景で述べるとおり、吹田市は非常に恵まれた都市と考えている。
  - 少子高齢化、若者の大都市への流出など、都市の弱体化が心配である。
  - 内容はともかく、このような説明会を開くことに意義がある。ロードマップを読ませていただく。
- 

(70歳以上男性)

- 取組の目標について、平成18年、23年の実績表示はあるが、その当時の目標差を分析したうえで平成32年の目標が設定されたのか否かが、読み取れ

ない。質問に対する回答は素案ということであったが、もっとロジカルで、計数的なPDCAがあれば理解が深まる。

- 重点施策と通常施策を明確にしてメリハリをつけた方がベターである。

---

(50代女性)

- 具体的な話でないのでピンと来ない。

---

(70歳以上男性)

- PDCAをきっちりやるべき。
- 数的目標を掲げているものをどのように実現するのか。
- 地域性を十分検討すべきである。

---

(70才以上男性)

- 理論的な資料と説明で具体的で身近な、資料説明が無い。以下の資料と説明を聞きたい。再度説明会を開催してほしい。

JR吹田操車場の跡地利用計画

万博南側跡地の利用計画と道路問題

ガンバスタジアム計画と道路問題

南山田地区の多くのマンション建設と人口増に対する学校、道路問題。

毎日放送跡地開発に関する、学校、道路、千里丘駅問題等

---

(60代男性)

- 地域別計画を織り込まないことが全く納得できない。

---

(60代女性)

- 人口の動向、交通のシステム、操車場の再利用など、もっと具体的なものを出してほしい。
- JR千里丘駅について、摂津市との連携でいろいろ考えていると思うが、もっとわかりやすい計画を示してほしい。

---

(年齢不記載、男性)

- スローガンと理念がわかりにくい。具体性がない。

---

(60代男性)

- 地域別計画を外すことに反対。6ブロック別では大き過ぎるのであれば、地域を細分化して計画を立ててほしい。

---

(年齢、性別不記載)

- ロードマップについて、千里丘地域の交通、亥の子、南千里へのバス交通の不便への対策を示してほしい。

- 環境について、近くに雑木林があり、数十匹のカラスが住み着いている。羽が飛んでくる、声がうるさい、糞を落とす、子を産んで増えているなど、問題が発生している。カラスは高い所が好きなようなので、高い木を切り倒したいが、土地の地主が対応してくれない。
- 今日の話にはあまり興味が持てなかった。もっと身近な話を期待していた。
- 具体性が無い。千里丘は忘れられている。千里丘のことが問題になっていない。来年は千里丘の動きを計画にしてほしい。

---

(60代男性)

- 総合計画素案は内容が全くない。このままで「市民説明会」を実施したと称して素案を成案にすることは暴力。
- 目標値と目標を実現するための施策案を説明せよ。

---

(60代男性)

- 具体的数値、項目が無い計画は無意味。
- 説明は30分、質問意見は1時間に。時間を逆にしてほしい。

---

(70歳以上男性)

- 環境について、回収業務や二酸化炭素問題を取り上げてよしとしているが、環境の基本はあくまで「清潔」が根本理念であるべき。吹田のまちは汚い。小川や道路傍の放置物がこの状態で、環境対策を主張するのはおかしい。
- 将来にわたり、安全安心なまちというが、今吹田で老人が道路へでることはあるのか。歩道で車いすを使わなければならない高齢者が通れる歩道はどれだけあるのか。これからの方針はどういうものか。

---

(50代女性)

- 参加者の中に具体的な計画がわからないと言う人がいたが、私はデータが分かりやすく、各項目別に理解しやすいと思った。
  - 説明会を開いても、意見には市への不満が多く、アイデアとしての意見を求められていることが理解されていないようで、市民の参加になっていない。
  - 千里丘について、地域別の計画が書かれていない。
- 
- 説明に無かったが自殺防止に意識を持ってほしい。担当は警察か、それとも教育か。吹田市は自殺が少ないから施策としないのか。「市 自治会 子供会、青少年対策室」の仕組みを使って、自殺が起こる前に防止してほしい。学校で対策すれば、学生が自殺しないのでは。吹田の自殺が少ないの

であれば、吹田はめぐまれているということだろうか。

- 不満が多い説明会であったが、職員の苦労はねぎらいたい。
- 

以上

吹田市総合計画市民説明会アンケート記録

3月2日(土)午前10:00~/岸部市民センター

---

(60代男性)

- 総合計画の説明はバラ色になっている。今までの総合計画の検証は行ったか。
  - 個別的に見ていけば、もっと多くの意見が出てくるのではないか。更に市民の意見を聞いて、計画策定にあたってほしい。
- 

(70歳以上男性)

- 参加者の多数が質問をしていたのが良い。
- 

(60代女性)

- 人と人のつながりを大切にし、地域の活動を活発化させていくためには、市民会館を無くしたり、勤労者会館などの市の施設を民間委託したりすることは逆行である。市の責任で施設を運営してほしい。
  - 自治会や、吹田市を基盤にして活動している団体への補助(使用料免除)を継続してほしい。
  - 安心して子育てできる吹田のまちづくりを進めてほしい。そのために保育所の待機児童もふえているので、保育所を増やしてほしい。
  - 幼稚園の空きがあるといって、幼保一体化を進めるのには反対だ。幼稚園と保育園はその役割が違う。
  - 吹田の操車場跡地のトラック輸送拠点による周辺環境の悪化が心配だ。環境対策と、地域への説明会を実施してほしい。
- 

(60代男性)

- 吹田市をどうよくするのかの説明会であるから、行政への要望や当面の希望の場は別途行うべき。
  - 責任の明確化を計画案に織り込むべき。
  - 市民説明会について、中間報告会も開催してほしい。
  - 民間のパワーを活かし、財政面の圧迫を避ける施策をもっと織り込むべき。
- 

(60代男性)

- 財政再建でゼロベース策において、例外扱いを作ると、われもわれもと例外ばかりになる。消費税で例えれば、例外無く全品目を10%にしたうえで、弱者への補助金を考慮すれば、消費税に例外を設定しなくてすむ。「例外を作るな」というのが私の意見。
  - 「多世代交流」が掲げられている。「太陽の広場」は、多世代交流に波及効果がある。まちで出会うと、「おじさん」と声をかけられて、「ふれあい」を感じる。
-

- 防犯予算の配分として、監視録画カメラ設置に補助金を出す。
  - 文化団体への補助金を特定の団体が独占している。予算が増やせないのであれば、補助を全廃して、公共施設の賃料に反映させて公平を図るべき。
  - 収入を増やすために、生産年齢者の移入を図る。そのために高層住宅建築の環境づくりと、子育て環境の整備を行う。
- 

(50代女性)

- 総合計画の案はだいたい分かるが、具体的なことが聞きたい。
  - 警察(派出所)が岸辺駅までしかないので、阪急線より東側、南正雀、川園地域にも欲しい。
- 

以上

吹田市総合計画市民説明会アンケート記録

3月2日(土)午後2:30～ / 千里市民センター

---

(70歳以上男性)

- 総合計画は計画とはいえ、「願望」「理念」にとどまっている。計画にはコスト対効果と、目標期限が示されているべきと思う。
  - 市民自治について、行政と一般市民の共通理解を作るためには、市民が直接参加できる機会作りを市民参加により実践する必要がある。それとリンクするような総合計画が欲しい。
  - ロードマップ p22「楽」の例として、エキスポランド跡地利用計画やガンバ大阪スタジアムのような、“楽しい”施設計画として説明されたが、隣接地域への負荷への配慮がかなり怪しい。事業内容と市民生活への影響について、大阪府、府議会、吹田市、市議会はどのような検討をしたのか。市民参画や協働どころか、市民排除に近い。総計と市民を結びつける方策作りも総合計画に含めてほしい。
- 

(70歳以上男性)

- 吹田操車場の跡地の開発を、透明感を持って行ってください。
- 

(60代男性)

- 今回、初めての参加で、総合計画そのものを理解するのに時間を要した。総合計画、すべての項目、内容を説明するのではなく、重要なポイントを分かりやすく説明するやり方でよかったのでは。
- 

(60代男性)

- 地域分権推進の方向性がしっかりと見えないので、明確に示してほしい。
  - PDCAのCがいつも不明確。何をどのように見直したのかがよく分からないまま進んでいる。
- 

(60代男性)

- 基本計画について、取組と目標があるが、達成度合、進行中の問題点など、チェック機構が見えない。ただの計画で終わるのではないか心配だ。
  - 介護施設等、今までも計画があるが、千里ニュータウンでは充実は見られない。府営住宅の建替え等で、活用が出て来て、土地があるにもかかわらず、実現されない。
  - p51の取組目標で、「地域包括支援センター」の指標がピンと来ない。PRするだけで達成できるのでは。
-

(70歳以上男性)

- もっとスピーディーに市民自治の充実と確立をすべきでは。
- 各自治会に案を投げかけ、討論討議をして、自治会でどうやっていくかを吸い上げるシステム作りを確立して欲しい。
- 地域のことは地域でしか出来ないことが多くあるのでは。

---

(70歳以上男性)

- 総合計画が大き過ぎて多岐にわたるので大変だが、計画の実現性の検証をぜひ確実にやっていただきたい。高齢者対策等、実際の市政とかけ離れているような感じがする。
- 今回は第3次総合計画の見直しということだが、当初の第3次総合計画が分からないので、見直した箇所について説明が欲しかった。

---

(60代男性)

- 本計画を実現するには、PDCAを明確にすること。行政の指導強化が必須条件と考える。

---

(70歳以上男性)

- 「環境教育促進法」が改正されたが、未だに何ら促進がなされていない。
- 教育委員会と市の環境部のどちらが主導するのか不明で、どちらに問い合わせても不明確である。具体的な指針作成はどの部局が担当するのか。「他の施策との連携」(p35)とあるが、内容は本日のプレゼンテーションでは皆無である。
- 新しい環境教育促進法に対応する吹田市のロードマップの作成を期待する。

---

(60代女性)

- 高齢化社会に対応した総合計画が必要であるのがよく分かった。
- 安全防災を重点化し、低い意識を向上すべきである。

---

(70歳以上男性)

- 立派な総合計画で全く異論がありません。
- 確実に実施されることをお願いします。
- 以下に総合計画についての希望を上げる。
  - 着実に実施できる内容にする。
  - 実施結果の市民へのレポートが必要。
  - 上記レポート内容の市民事業、行政の共有化のチャンスを作る。
  - PDCAのサイクルのAを確実にやり、市民と共有する。又は、修正を共有

し、より有効なものとする。

重点項目を明確にする。

まちづくり指針を事業者が無視する状況に対し、市は十分に指導できていない。これではどんな指針を作っても絵に描いた餅である。

- 自治会長の交代の制度化又は指導を進めてほしい。自治会と市の関わりがはっきりしない。自治会を利用するのであれば、市は自治会の存在の意味を明確にすべきではないか。

---

(60代男性)

- 防災、防犯については若干目新しさがあったが、他については特に感想は無い。

---

(70才以上男性)

- 広範な範囲にわたる総合計画ではやむを得ないが、やや具体性に欠ける。今後、具体的な取組について順次明らかにしてほしい。
- 地域発展のための特区制度(文化、技術、医学など)を設け、高度な文化都市を目指すべき。
- 今、喫緊の最大の課題は教育。特に小中学校のレベルアップを図ること。高校の進学状況から見て、豊中、茨木、高槻と比べてレベルが低い。教育は総合計画と直接関係しないのか。

---

(70才以上女性)

- 千里ニュータウンに関するのですが、まちびらきのころの活気が現在無くなり、何とかしなければと思う。
- 近隣センターは高野台で2つとも無くなった。生活は住宅だけがあれば良いというものではない。
- 近隣センターのいわゆる専門店(米屋、酒屋など)は、個人の所有物になっているため、閉店してもそのまま、市民の生活に役立つものになり得ない状況だ。市民が活用できるような手法を考えてほしい。
- 自治会は加入していない個人も含めた地域の活性化が任務だが、現在の自治会は形式だけを守り、形骸化しているところが多い。市政の情報を自治会に流していれば市民に伝達できていると考えるのは誤りである。市民の声を吸い上げる流れや道筋を多様に考えるべきである。

---

(70歳以上男性)

- 実現すれば立派な市民生活が営めると思うが、実現のための具体的問題点

を絞り込んで潰していかないと、総花的でパンチに欠ける。投入資源の実現性と、裏付けと、蓋然性をもって説明できなくては、所詮きれいな絵に過ぎない。

- 特にゴミ分別については今回随分後退しているが、反転できるのか。
- とにかく、箱物を増やさず、お手盛り事業を止める現実的対応が、市民にとって切実な課題である。

---

(60代女性)

- ニュータウンに住んでいるので建替に関心があるが、良く分からない。

---

以上

吹田市総合計画市民説明会アンケート記録

3月3日(日)午前 10:00 ~ / メイシアター

---

(50代男性)

- 吹田は全国的に見てもかなり生活環境の良い、バランスの取れたまちであると気に入っている。今後もこの町で住み続けたいと思っているが、2人の娘も適齢期となり、その今後を考える中で、本市内でもどの地域に住み、どのような仕事に就き、あるいは子育てにどのようなシステムが利用できるのか、少しでもアドバイスしてやりたくて参加した。
  - 具体的な説明会の内容だが、基礎知識としての経緯や方向性としての理念は分かるが、その部分の説明が長過ぎて、今後の具体的な「実施計画」が少なかったのが残念。
  - 資料には取組の目標などの数字も出ているが、それを達成するために具体的には誰がいつ何をするかなどの記載が欲しい。
  - 話し合いはとかく総論賛成各論反対になりやすく、イベント、箱もの、助成、いずれも具体的な事例を出す程賛否両論出て来て收拾がつかなくなるという本音も分かるが、いくつか案を提示して、そのうちの賛成案を尋ねるぐらいの例示をしてくれば、市民も考えやすく、理解が深まるのではないか。
- 

(40代男性)

- 平成18年に施行された第3次総合計画の今までの実績と、出来なかったことについて記載がない。良いところ悪いところがわかったうえで、今回の見直しに生かされていることを示したら良いのではないか。
  - 以前、「市長が変わると総合計画が変わる」というような質問もあった。総合計画は今後どのようなシステムで改訂されていくのかの説明が欲しい。
- 

(30代男性)

- 見直しのポイントを見直し前後で比較して説明する方が分かりやすいのでは。
  - 計画策定後の市民への告知に力を入れてほしい。
- 

(70歳以上男性)

- 説明は理解できたが、この説明会をどれだけの市民が承知しているのか
  - 市報で紹介があったが、より周知させることが大切だ。
  - 最近の市政は、財政ばかりが優先されて、よい市のあり方からはなれていっている感じがする。地域の実態を行政がよく理解していない。机上の理論での計画にならないよう望む。
-

(70歳以上男性)

- 総合計画の作成は大変だと思うが、吹田市民として生活するうえで大切な事項であるためよろしく願います。
- 

(70歳以上男性)

- 計画的なまちづくりについて、JR吹田駅前立体駐車場の今後の取組について。
- 

(70歳以上男性)

- 見直しには市民を加えて実施を。
  - 交通の利便性では、市内の各拠点間の交通だけでも充実を。市内交通は全く駄目。
  - 歴史的、景観的に万博公園に匹敵するのが垂水神社とその裏山の地域。将来のための重要資源であることを認識してほしい。
  - 円山町の公務員宿舎跡地を核にして、千里山までの尾根道、日生グラウンドも含んで、市民、府民、国民の「モリ」にしてほしい。
  - 吹田市では審議会委員の条件に、他の審議会などに入らないことが条件となっている。逆ではないか。
  - みどりが吹田の魅力の大きな部分(関大に委託したアンケート)であるが、その増やし方の具体的方策(農業の活用など)を示してほしい。
  - 行政職員は市内の各地区の特徴(歴史・地理・その他)を十分につかむ方策を考えてほしい。
- 

以上

吹田市総合計画市民説明会アンケート記録

3月3日(日)午後2:30～ / ゆいぴあ

---

(50代男性)

- ネットで行政対応がすべてできるようになってほしい。
  - 分かりにくい文がある。(p88,4-、p90,3- )
  - 「新たな公」で進める場合、行政の役割をもっと明確にした方が良い。それほど人が要らなくなるのでは。人件費の削減。
- 

(70歳以上男性)

- 久しぶりに吹田市の現状について、かなり詳しい説明を聞いて勉強になった。
  - 吹田市は福祉、子育てのまちとして知られてきたが、これらが今後も維持されるのか、心配な話を耳にする。総合計画での具体的な記述は難しいだろうが、市民の幸福を推進する方向性は変えないでほしい。
  - 山田駅周辺のまちづくりにおける市民参加の経験を参考にしてほしい。
- 

(40代男性)

- JR新駅は南吹田駅の名称にしてほしい。
  - マンション建設に対し厳重なチェックをしてほしい。詳細は質疑で述べたとおり。
  - 前市長が買い取った新幹線車両はどう活用するのか。4000万円も使って無責任ではないか。
  - 大きな案件は市と業者だけで決めずにもっと市民を巻き込んでほしい。
  - 山田駅前に交番を設置してほしい。
  - 老人対策で、赤バスのような裏通りを走るバスを作ってはどうか。
- 

(40代男性)

- 説明資料p11で、「新たな公」という概念を使っているが、平成22年から内閣府では「新しい公共」という文言が用いられている。あえて「新たな公」という言葉を使うことにはどのような意味があるのか。
- 

(40代女性)

- より多くの人に参加してもらい、市の計画を分かってもらいたい。
  - 市と市民が話し合う場所があるのは良いこと。様々な施策に共同で取り組めると良い。
- 

(60代女性)

- 国立循環器病研究センター、弘済院等、他の行政との連絡を密にし、吹田市としての要望を伝えてほしい。
-

(40代男性)

- 超高齢社会になっていくのをただ待っているのでは、計画とは言えない。子育て世代が吹田を選ぶ手法や、魅力のアピールが必要。
  - 西山田保育園で子どもを預けているが、吹田市は他市との比較をするばかり。保育料を上げ、延長保育を有料化し、p60にあるような「経済的な支援」とは逆行する流れが不安である。
  - 民営化を打ち出しているが、これは待機児童の解消にはならない。制服代など、受託園に今まで以上の経済的負担を強いられると困る。
  - 今日のような意見を聴いてもらえる場も設けられたが、開くだけで対応されない。
  - 他市と比較するのであれば人件費であるが、非正規職員ばかりの保育園も困る。
  - 協働というのであれば、保護者に耳を傾ける姿勢をもっと見せてほしい。保護者が主体的に活動できる環境づくりも必要ではないか。
  - 中学生にまでアンケートしたのは良いことだ。広く市民の意見を聴く姿勢を続けてほしい。
- 

(60代男性)

- 高齢化が進む中、高齢者がもっと活躍できる事例の紹介や、場所の提供を行ってほしい。
  - 家でぶらぶらし、健康を害する人も増える。吹田市主導で高齢化対策を期待する。高齢化対策の日本のモデルとなってほしい。
- 

(60代女性)

- 総合計画の説明を聞いて参考になった。市民の意見、質問を積極的にくみ上げる姿勢はありがたい。ぜひ意見を反映させてほしい。
- 

以上

# 吹田市総合計画審議会（第3回）

## 傍聴者

### 意見用紙

本日、審議会を傍聴されて、御意見がございましたら、以下に記入して事務局の者にお渡しください。御意見は、次回の審議会の資料として活用させていただきます。

住所	(町名まで結構です) 吹田市藤白台		
年齢	70 歳代	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男 ・ 女
<p>市民意見について11件とあるがこんなに少数では民意とは云えないと思う。</p> <p>地域主権改革を云うのであれば、こう云うことを各自治に投げかけて、自治で討論させて、地域よりの意見をもっとすい上げる方法を重く考え、地域にもっと自分達の町のあり方について、意識をもってもらい、自治をよりかたい決そくを強くしていく様に、行政より働きかけ、自治が重要である事を認識させるべきだと考える</p>			
<hr/>			
<hr/>			
<hr/>			